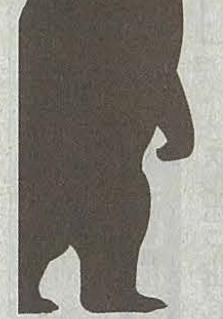




熊寄せ付けない環境づくり

東京農業大学地域環境科学部
森林総合学科森林生態学研究室

教授 山崎 晃司さん



日本の熊の仲間は2種類、
北海道だけに住むヒグマと、
本州および四国に住むツキノ
ワグマです。

ヒグマの大きなオスは体重



身近な場所で
遭遇する危険

熊が人の生活圏に現れ、田畠を荒らしたり人を傷つける事件が近年、増えている。ドングリが不作になり食べ物に困るなど、人里に下りてくる理由はさまざまある。熊の生態に詳しい、東京農業大学地域環境科学部森林総合学科森林生態学研究室の山崎晃司教授は、「寄せ付けないことが一番」という。冬眠明けの熊との遭遇を避け、万が一遭遇した際の対処法を教えてもらいつ。

熊が人の生活圏に現れ、田畠を荒らしたり人を傷つける事件が近年、増えている。ドングリが不作になり食べ物に困るなど、人里に下りてくる理由はさまざまある。熊の生態に詳しい、東京農業大学地域環境科学部森林総合学科森林生態学研究室の山崎晃司教授は、「寄せ付けないことが一番」という。冬眠明けの熊との遭遇を避け、万が一遭遇した際の対処法を教えてもらいつ。

200～300kgを超えます
が、ツキノワグマは大きなオ
スでも100kgを超える程度
です。食べ物は、皆さんの中
想像と異なり、木の実、若葉、
花などの植物質がほとんどを
占めます。性質はどちらかと
いふと臆病で、基本的に人を
避けて森の中に生活します
が、最近、思わず場所に現れ
て人身事故を起こしていま
す。

近年、熊の生活範囲が里山
にまで広がり、場所によって
は数も増えていることが背景
にあります。九州と四国を除
き、森があるところには、熊
がいると考えて行動すべき時
代になりました。

冬眠明けの出没に注意

環境づくり



熊の生活範囲は近年、里山まで広がってきている

農地に残した作物など 誘引物は徹底除去

遭遇しやすいポイント
その周辺で払う注意

茂みや下草などは
刈り払っておく
熊は誘引物がある場所に、
茂みや下草などを利用して接
近してきます。そうした隠れ
場所や通路をできるだけ刈り
払いましょう。また、集落周
辺に出る熊は、人を恐れて緊
張状態にあるため、人に突然
合つて驚くと簡単にパニック
に陥り、事態を悪化させます。
出合つてしまつた際は、で
きるだけ落ち着いて熊を興奮
させないことです。ただし、

200～300kgを超えます
が、ツキノワグマは大きなオ
スでも100kgを超える程度
です。食べ物は、皆さんの中
想像と異なり、木の実、若葉、
花などの植物質がほとんどを
占めます。性質はどちらかと
いふと臆病で、基本的に人を
避けて森の中に生活します
が、最近、思わず場所に現れ
て人身事故を起こしていま
す。

熊は冬眠します。そのた
め、普通は4月頃から11、12
月頃が活動時期になり、どの
時期にも事故は発生していま
す。子連れのメスは子を守
るために注
意が必要です。

厄介な面もありますが、熊
は何十万年もこの日本に生活
している、私たちの先輩で
す。うまく付き合える方法を
模索したいものです。

熊を寄せ付けないために

- ・活動期は4～12月ごろと長い
- ・農地の未収穫物や庭先の柿などを放置しない
- ・電気柵の設置も効果的
- ・熊が身を隠せる茂みなどをなくす

接近・侵入の予防にするべき備え